

コミュニティスクール開催

実施日：11月10日 於：中央公民館



園・学校運営協議会

第1回は新型コロナウイルス感染症予防のために文書での会となりました。委員の方から幼稚園、小中学校の経営方針を文書で承認してもらいました。第2回はそれらの経営方針に対する進捗状況について園長、校長から説明がありました。特に、今年度は、コロナ禍で園や学校のスタートが6月からということもあり、そうした現状を踏まえた取組の紹介がありました。



① 各学校園の進捗状況について

幼稚園

コロナウイルス対応として行事の精選や方法を工夫している。冒険山をはじめとする環境を生かした活動を展開し、遊びという体験を通して子どもなりにアイデアを出しながら遊んでいる。

小学校

コロナ感染対策をしつつ、GIGAスクールによるIT化も進んできたことでソサエティ5.0という未来志向の観点から経営を進めている。タブレット学習や情報収集能力の育成を進めている。

中学校

学校全体としては落ち着いた雰囲気の中で前向きに学校生活を送っている。一方、生徒が困難にぶつかった時に自力で解決しようとするたくましさを通理解しながら育成している。

② ご意見・質疑応答

- タブレット使用を苦手とするお子さんはいないか。……▶ 毎日使用していくことで慣れていくと思う。
- コロナの影響から行事の精選がされるが、子どもの主体性を生かした活動になっていけるとよい。

地域・園・学校協働本部

坂祝幼稚園や小中学校のだけでなく、坂祝保育園、遊々こども園など坂祝町のすべての子ども達が抱える課題等についても、地域が関わって活動をしていこうというのが「地域・園・学校協働本部」です。今年度も、園児小中学生に関わる課題の中から喫緊の3つの課題に絞って話し合いをしています。

① 全体会

今回までに委員会がどんな話し合いや活動をしてきたかについて、各委員会から説明がありました。

ふるさと・絆委員会（永松 英三委員長）

「今年度はコロナ感染予防のために学校に入ることは難しかったが、今後は、地域でできることなどを考えていきたい。」

地域・スポーツ委員会（菅沼 誠嗣委員長）

「廃止のある部活動がある現状を踏まえ「学校部活動」から「地域部活動」への道筋を考えていく。その運営主体についての意見交流を行っていく。」

多文化共生委員会（梅田 千枝子委員長）

「小学校外国人放課後学習と小学校国際教室(ともだち教室)への学習支援を行うようになった。すまいるひろばでは、学校では時間的に教えられない日本文化などを中心に活動をしている。」



② 分科会

以下は、各分科会で話しあわれた概要です。

ふるさと・絆委員会

- 主体的に見守りをしていただけているボランティアの様子を広報していく。
- 「ふるさと坂祝が好き」と言える子を育てるための今後の活動について検討がされた。

地域・スポーツ委員会

- 中学校の部活動について現状のアンケートなどをもとに意見交換をした。今後、子どもたちのためにどのようなスポーツ環境を確保するとよいかをいろいろな事例を通して検討していく。

多文化共生委員会

- 小学校外国人放課後学習の活動を子どもたちや保護者が大変喜んでいる。
- 小学校外国人児童取り出し指導支援もボランティアの協力を得ている。ボランティアの募集を広めたい。